



# 輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之

## 雑感 ～「幸せ」とは・・・「気づき」～

先日、ある人の「幸せ」についての話を聞きました。その話から「なるほど、そうかもなあ～」と感じるところがありましたので概略ですが、紹介したいと思います。

(講師…講 大内の心の声…因)

講 「人は誰でも幸せになりたいと思っています。」

因 「なるほど、そうだよな。当たり前だけど。不幸はいやだもんなあ。」

講 「じゃあ、どうなれば幸せですか。」

因 「そんなこと言われても・・・。お金持ちとか、名誉とか？」

講 「お金はいくらあったら幸せですか。名誉とはどんな名誉ですか。」

因 「?????・・・」

講 「幸せとは『幸せ』を感じられるか、気づくことができるかです。」

因 「?????・・・」

講 「今まで気づけなかったことに気づくとより幸せです。」

「桜が咲いていてきれいだなあ。と感じていた人がいたとします。そのひとは桜をみて幸せを感じているといってもいいでしょう。しかし、その人が、見過ごしていた道ばたの端に咲く名もない雑草の花をみてきれいだなあと感じたとします。すると、それだけでも豊かな気持ちが増し、幸せ感が満ちてきますよ。幸せとは幸せの『気づき』です。心です。」

因 「なんとなくわかる でもなんとなくスッキリもしないなあ」

「心だけではどうにもならないものもあるんだろうけど・・・」

なんとなくわかるような、わからないような感じがありましたが、それでも、今を含め、これまで自分が教師として感じてきたこと、北小の先生方が子どもと向き合っているときの姿などをみていると

- 子どもが今までできなかったことができるようになっていくことに気づくとやけに嬉しい。
- 子どもの普段見せないような友達への優しさを垣間見るとやけに嬉しい。
- 子どもたちが教師の発想を超えた意見などを出し、行動している姿はやけに嬉しい。等々これって幸せなことかも。



確かに、新たな「気づき」が「幸せ」と結びついていると感じることは多々あるのです。先生方は、日々子ども達の成長の発見を心がけています。そして、その成長の気づきを子どもに返し、自己肯定感が高まることを目指しています。さらには、子どもから家庭にも波及し、幸せの気づきの連鎖が起きてほしいなと思っています。

あまりに身近すぎて見えなくなっているところもあると思います。どうぞご家庭においても子ども達の成長の「気づき」をお願いいたします。幸せが寄ってくるように思えます。

心の持ちようだけではどうしようもない問題があることも十分承知していますが、その中でも幸せの「気づき」を大切にできたらいいなあと考えていました。

## 保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください(または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで)～

----- 切 り 取 り 線 -----